

第1学年1組 美術科メディア活用学習指導案

学習指導者 渡邊 大輔

主体的に表現や鑑賞に取り組み、創造の喜びを感じる美術を求めて

1 校時・場所 第5校時 情報処理教室

2 題材名 鑑賞「ゴッホと浮世絵」

3 題材について

(1) 浮世絵は、日本文化を代表する作品ジャンルであり、今や世界中にコレクターが存在している。そのきっかけとなった印象派の画家たちについて調べる。とりわけ、ゴッホについては、浮世絵との関係性が極めて高いと言える。ゴッホの生涯や浮世絵について学習することで、我が国と世界の絵画史についての知識を高め、文化遺産としての美術を愛好する態度を養えるものと思われる。

また、資料やスライド等で作品を鑑賞するだけの授業と違い、デジタル資料等を通して臨場感を味わわせ、興味・関心を高めることができる。美術的に価値の高い作品を、教師自らの体験談や資料から学び取らせることで、生徒の美術や文化遺産への興味・関心を高めることができる題材である。

(2) このクラスの生徒は素直で活発な生徒が多い。その半面、授業中他のことに気をとられて進度の遅くなる生徒もいる。

「印象派」や「浮世絵」という名称は知っているが、美術的な特徴やその価値について知らない生徒は約70%である。

また、コンピュータ操作の速度は興味・関心によって異なることもあるが、苦手意識を持っている生徒が数名いる。

(3) 次のことに留意して指導を行いたい。

ゴッホの作品や生き方を積極的に調べ、考えたことを記録し、まとめた経験を大切にす。また、文化遺産としての美術作品を大切にしようとする態度を養う。

コンピュータを通しての鑑賞授業は、生徒に自ら調べさせることもでき、美術鑑賞への意欲化を図るものである。

ゴッホの生い立ちや、作品の歴史的背景を、生徒の意欲・関心に応じて調べていくことができるように、自作のプレゼンテーションデジタル資料を工夫したい。

コンピュータの操作に苦手意識を感じている生徒には、プロジェクターで手順操作を説明したり、資料の文章量に困惑している生徒については、デジタル資料にアンダーラインを引くなどの配慮をしたり、巡回指導のときなどにできるだけ多くの関わりを持ち、少しでも満足感を味わわせるようにしたい。

4 題材の目標

(1) 印象派と浮世絵の意義や時代背景を探りながら、作品の良さや美しさを主体的に味わう。

(2) 知識としての鑑賞だけでなく、技術的なことを今後の学習に生かし、文化遺産としての美術的価値に気づく。

(3) 作者の心情や生き方を理解し、自分と照らし合わせたり、友人の意見や感じ方を認め、尊重する態度を身につける。

5 学習指導計画

(1) 浮世絵と印象派の起こりについて調べてみよう・・・・・・・・・・1時間

(2) ゴッホの生涯について調べてみよう・・・・・・・・・・1時間(本時)

(3) ゴッホと浮世絵についてのまとめをしよう・・・・・・・・・・1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標及び評価規準

- ・主体的に資料から作者・作品・時代背景について調べ、感じたことや連想したことを素直に表現できる。
- ・我が国や諸外国の美術作品の特質、美術文化や文化遺産などの特質、文化と伝統などについて理解や見方を深める。

(2) 主体的学習を可能にするメディア活用の視点

作品や作者に興味を持ち、進んで調べながら意欲的に鑑賞しようとする。

(3) 目指す「確かな学力」

「課題意識を持って、浮世絵と印象派の作品の特徴を感じ取り、自分なりの考え方を表現できる力」

(4) 準備物

鑑賞デジタル資料 (Power Point) 標準美術、ワークシート、プロジェクター

(5) 学習指導過程

学習活動・内容	生徒の意識の流れ	教師の評価と支援 評価基準 メディア使用時の留意点及び支援
1 ゴッホの「ひまわり」2点の比較をする。 第一印象を発表する。 2 印象派の起こりについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人に高値で買われた絵だ。 ・黄色が強く、激しい絵だなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の印象について自由に感想を出させる。 ・プレゼンテーションの起動が困難な生徒の支援をする。 ・印象派の起こりと浮世絵の関係について理解させることができたか。
ゴッホが「ひまわり」を通して描きたかったものとは何だろう。		
3 本時の課題を知る。 ワークシートの課題について、デジタル資料を通して調べる。 (1) 人生について調べる。 (2) 性格や気持ちを知る。 (3) ゴッホと共同生活についてクイズを解く。 (4) 「ひまわり」を通して描きたかったものは何だろう。 4 自分の考えを発表し合う。 5 まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホは、「ひまわり」をなぜたくさん描いたのだろう。 ・「ひまわり」がゴッホにとって重要な作品だったんだなあ。 ・ゴッホと共同生活を楽しみにしていたんだなあ。 ・ゴッホは画家として、人間として、激しい人物だったんだなあ。 ・ゴッホは黄色が好きだったんだなあ ・日本への憧れが強い。 ・本物の作品を見たいなあ。文化遺産としての美術を大切にしていきたいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわり」7作品の表現から、自分の考えを素直に書かせる。 ・個別指導により、資料の内容の困難さに対応する。 ・デジタル資料を調べるときに、ゴッホの心情や生き方に着目させる。 表現 (A: ワークシートの課題に対して、素直に感じたことや、自由に連想したことを表現できている。) (B: 文章量が豊富である。) ・論理的な見方、感情的な見方など、様々な感受性を認め、教師の意見も伝える。 ・校内にもゴッホ作品のレプリカがあることを周知する。 ・作品に込められた作者の意図や文化遺産としての美術を大切にしていこうとする態度が養えたか。